

第11回新城市自治基本条例を考える市民会議 参加者感想 平成22年9月15日開催

感 想	
市民委員	<p>前回のまとめの会よりもずっと「やりやすい」と感じました。進行を工夫していただきありがとうございます。 その上で欲を言えば、1グループは4人が望ましいと思います。今回でしたら3グループのほうがより活発になったかなと思いました。 また、後半はあまりピンときませんでした。やはり多い人数になるとお互いに意見の言いつばなしになってしまうのではないかと思います。例えば、2グループを2つに分けて半分ずつ交換する等はいかがでしょうか？</p>
	<p>市民参加の意味定義 情報の意義→取り出し→利用の方法をどう取り込むか。</p>
	<p>だんだん内容がまとまって来た感じがあります。</p>
	<p>いつもワンパターン化しているので、風を入れてディスカッションしてください。</p>
	<p>意見を集約するためには、時間が足りない。議論が少ないと短絡的な結論になりがち。</p>
	<p>情報の多く流れる今、どのように何を受け取るか。いろいろ考えれば大変ですね？ 流す情報より受け取りやすい情報。</p>
	<p>「参加」「情報」等言葉の意味があいまいなまま進行していくところがあると思います。時々認識の統一を図りながら進めてほしいです。 それぞれの思いと結果がなるべく近いようにしたいと思います。</p>
	<p>委員から司会進行することはできないのでしょうか？ 先生がまとめるコメントと言う形では参加する市民が育っていかないように思います。 検討してほしいです。 行政職員がもう少し市民と一体になってほしいです。</p>
<p>自治基本条例制定は、市民自治、市民参加の仕組みをこれまでの二元代表制に加える新たな試みであるということがわかってきた。自治意識はまだ育っていないが市民参加は新城地方の再生につながっていくと思う。</p>	